

学校評価は、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。

学校評価

三瓶中学校では、次のような目的で学校評価を実施し、保護者や地域住民等から信頼される学校づくりを進めます。

- ・計画→実行→評価→改善のサイクルを確立し、継続的に発展できる体制を整えます。
- ・保護者アンケートは7月、12月の年2回です。
- ・保護者・地域に対して積極的に結果を公開し、説明責任を果たし、改善への手掛かりを得ます。

令和5年度1学期末学校生活に関するアンケート結果

西予市立三瓶中学校

評価4：あてはまる 評価3：どちらかといえばあてはまる 評価2：どちらかといえばあてはまらない 評価1：あてはまらない

設問	質問内容	グラフ（保護者回答率90%）	%	評価4	評価3	評価2	評価1	肯定的割合	評価・分析・改善策等
1	三瓶中学校の生徒は、学校で楽しく、充実した生活を送っている。		教職員	25%	67%	8%	0%	92%	・教職員、生徒、保護者の9割以上が肯定しており、おおむね満足と言える結果です。昨年度よりも数値がよくなっていますが、評価が低い生徒を見逃すことなく、全員が楽しく、充実した生活が送れる学校を目指していきます。
			生徒	43%	54%	3%	0%	97%	
			保護者	30%	67%	3%	0%	97%	
2	三瓶中学校の生徒は、日々の授業の学習内容をだいたい理解できている。		教職員	8%	92%	0%	0%	100%	・生徒、保護者ともに否定的な意見が2割程度あり、本校の課題の一つと言えます。学校生活の多くを占める授業の充実が喫緊の課題です。教職員の連携を強化し、情報交換をしながら、わかる授業が展開できるようにしていきます。
			生徒	24%	61%	14%	1%	85%	
			保護者	7%	67%	24%	2%	74%	
3	三瓶中学校の生徒は、自分から進んで学習に取り組んでいる。		教職員	0%	58%	42%	0%	58%	・生徒、保護者ともに3割程度が否定的であり、二極化の傾向が見て取れます。教職員の評価も非常に低いものとなっています。主体的に取り組むことの重要性を確認しながら、粘り強く指導を続けていく必要があります。
			生徒	27%	43%	28%	2%	70%	
			保護者	7%	67%	23%	3%	74%	
4	三瓶中学校の教員は、それぞれの生徒のよいところを認め、言葉や態度で伝えている。		教職員	34%	58%	8%	0%	92%	・教職員、生徒、保護者の8割以上が肯定していますが、まだ十分によさを認め、伝えることができてない部分があります。一人一人の個性を認め、個に応じた丁寧な対応を心掛けていきます。
			生徒	25%	62%	10%	3%	87%	
			保護者	13%	73%	14%	0%	86%	
5	三瓶中学校の生徒は、校則やスマホなどの学校のルールを守っている。		教職員	8%	84%	8%	0%	92%	・生徒と保護者の評価に大きな差があります。生徒は守っていると思っていても保護者から見ると守れていないと感じているようです。学校での指導を継続しながら、家庭で話し合う機会を作れるように声掛けをしていきます。
			生徒	67%	31%	2%	0%	98%	
			保護者	21%	53%	24%	2%	74%	
6	三瓶中学校の生徒は、いじめや差別をしない、許さないという態度で生活できている。		教職員	16%	84%	0%	0%	100%	・教職員、生徒は9割以上が肯定していますが、保護者には否定的な意見もあります。少数意見にも耳を傾け、情報収集をしっかりと行い、いじめの早期発見・早期解決に努めていきます。
			生徒	78%	19%	3%	0%	97%	
			保護者	19%	67%	14%	0%	86%	
7	三瓶中学校の生徒は、あいさつの習慣が身に付いている。		教職員	8%	34%	50%	8%	42%	・教職員の評価が最も低かった項目です。生徒、保護者については、昨年度よりよくなっていることから、ある場面ではあいさつができていない現状がわかります。どんな場面でも気持ちのよいあいさつができる学校を目指していきます。
			生徒	26%	62%	11%	1%	88%	
			保護者	23%	63%	12%	2%	86%	
8	三瓶中学校の教員は、教え方を工夫し、わかりやすく教えている。		教職員	25%	75%	0%	0%	100%	・生徒、保護者の評価が昨年度よりもよくなっていることから、ある一定の改善はできていることがわかります。設問2の評価の向上につながるように、教職員も学び続ける姿勢を持ち、日々の授業を行っています。
			生徒	36%	60%	3%	1%	96%	
			保護者	8%	80%	10%	2%	88%	
9	三瓶中学校の教員は、いけないことはいけないと指導している。		教職員	75%	25%	0%	0%	100%	・教職員、生徒、保護者の9割以上が肯定しており、今後も継続して指導をしていきます。生徒のことを信頼し、じっくりと話を聞きながら、個に応じた指導を行っています。
			生徒	65%	31%	2%	2%	96%	
			保護者	27%	66%	7%	0%	93%	
10	三瓶中学校は、いじめや生徒間のトラブルにきちんと対応している。		教職員	75%	25%	0%	0%	100%	・教職員は対応しているつもりでも、生徒や保護者には十分ではないと感じている場面があるようです。信頼関係を構築しながら、一つ一つのことに丁寧にに対応していき、いじめやトラブルの早期発見・早期解決に努めていきます。
			生徒	62%	32%	5%	1%	94%	
			保護者	22%	65%	11%	2%	87%	
11	三瓶中学校の部活動は、充実している。		教職員	8%	84%	8%	0%	92%	・保護者の評価が最も低い項目です。生徒の評価とも大きな差があります。部活動については、地域移行も含め、改革期にきています。学校、家庭、地域が対話を重ねながら、よりよい方向性を見付けていく必要があります。
			生徒	64%	28%	7%	1%	92%	
			保護者	18%	43%	25%	14%	61%	
12	三瓶中学校は、学校の様子や教育方針を家庭への連絡（通信、ホームページ、電話連絡、家庭訪問など）によってわかりやすく伝えている。		教職員	84%	16%	0%	0%	100%	・教職員、生徒、保護者の9割以上が肯定しており、おおむね満足のいく評価となっています。「すぐる」導入も高評価となっている一因です。今後も学校の様子をわかりやすく伝えていきます。
			生徒	67%	31%	2%	0%	98%	
			保護者	43%	51%	6%	0%	94%	

『心豊かで、生き生きと活動する生徒を育てる』を学校目標として、日々の教育活動に取り組んでいます。令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、様々な行事が通常の形で行われるようになりました。昨年度に引き続き、学校生活に関するアンケートをオンライン上で行うこととしました。保護者からの回答率は90%でした。御協力ありがとうございました。

学校評価は、実施して終わりではなく、改善への手掛かりを今後に生かしていくことが重要です。単純に昨年度との比較はできませんが、「自ら進んで学習に取り組む態度」や「あいさつの習慣」において課題が見られました。自ら学ぶことのできる授業、わかりやすい授業を展開していくことは教員の使命です。教職員の連携を密にし、よりよい授業の在り方を追求していきたいと思います。また、あいさつについては、様々なアイデアを集めながら取り組んでいる最中です。令和6年度で三瓶分校がなくなることを踏まえ、地域の発信源となるべく三瓶中学校が、地域を盛り上げ、地域とともに歩む学校となるようにしていきたいと思います。